

# 平成12年度科学研究費採択状況

## 平成12年度科学研究費採択状況からの提言

歯学部長 花田 晃 治

歯学部・歯学部附属病院における科学研究費補助金申請・採択状況（表1）をご覧くださいと、平成2年度からの10年間に約4倍の伸びを示し、平成12年度には2億5770万円となっています。こうした状況は、歯学部および歯学部附属病院所属の先生方による先進的、的確なテーマに基づいた申請が認められたものであります。新潟大学全体を見ても歯学部は申請率、採択率ともに非常に高いレベルを維持しています。

先の歯学部ニュース（平成11年度第2号）において、次のようにお知らせしました。「今回の予算措置は必ずしも各大学における配分方法の変更を直ちに求めるものではない、今回の措置はあくまでも積算方法のみを変更するものであり、各大学への配分額や経費の性格、用途等に変更をきたすものではない、となっていますが、平成12年度に各大学の評価が行われますと、平成13年度はその評価に基づいた配分となります。不足分は科学研究費、委託研究費、委任経理金などによって獲得

しなければなりません。まさに前号で予測していたとおりになってきました。」それからほぼ半年が経過した現状では、不足分を科学研究費で補う、といったレベルではなく、配分額は歯学部・講座の管理運営、教育などに相当部分を当てざるを得ないこととなりますので、先生方の研究は、まさに科学研究費によって行われるということになります。アメリカに留学された先生あるいはアメリカとの共同研究をされた先生はご存知と思いますが、日本における研究費は、アメリカの研究の主な財源がNIHへの申請と採用によってまかなわれている状況に大いに似たものになってゆきましょう。

こうした状況を冷静に理解し、平成13年度の科学研究費の申請をさらに増してください。平成12年度においては、教員数149に対して申請件数はわずかに197でした。歯学部および歯学部附属病院の教官は、最低限2件、2件以上の申請ができるように今から準備してください。科学研究費の採択率の増加によって今まで以上に研究の成果をあげ、それらの成果を社会に還元することが新潟大学歯学部および歯学部附属病院の使命であると強く認識していただくようお願いいたします。

### 科学研究費補助金 申請・採択状況（平成2年度～平成12年度） 新潟大学歯学部・歯学部附属病院

年 度	教員数	申 請		採 択	
		件 数	金 額	件 数	金 額
平成2年度	144 人	121 件	487,208 千円	34 件	64,500 千円
平成3年度	145	128	750,954	49	97,800
平成4年度	141	126	520,601	51	120,600
平成5年度	145	133	556,687	45	99,800
平成6年度	147	146	641,691	50	125,700
平成7年度	145	151	773,502	61	161,900
平成8年度	145	163	654,700	65	148,700
平成9年度	147	178	875,161	69	141,100
平成10年度	147	190	767,578	86	170,500
平成11年度	147	185	735,200	80	253,000
平成12年度	149	197	684,016	93	257,700

※ 教員数は、各年度5月1日現在の現員を示す。